

健康管理士一般指導員活動事例取材シート

健康管理士番号	H - 4751
お名前	松浦 功
性別	男
年齢	38歳



なぜ健康管理士一般指導員の資格を取得しようと思ったのですか？

病院や施設におられる方の治療や療養が主だった時代から、いかに今の状態を維持するか(次の段階に進ませないか)、予防していくかという変革の時代に資格の取得をしようと考えました。また、介護の現場は非常に病気のこと、リハビリのこと、栄養のことなどに疎い面があり、そういった面を払拭し、現場を引っ張っていきたい、介護職全体の能力、質も高めていきたいと思っていました。資格自体を知ったのは、通信教育の表彰式が東京であり、そこへ参加した時初めて知り、次はこの資格を勉強しようと思いました。

健康管理士一般指導員受験対策講座(通信教育)から資格取得までの感想はいかがですか？

率直に言って楽しかったです。当時は自分が知らなかった事、知りたい事がテキストに載っており、新鮮な気持ちで学びました。仕事から帰ってからはもちろん、昼休みや夜勤中も時間があればテキストを広げ、全てを吸収しようと努めました。当時、試験会場は大阪と東京の2会場でしたが、その道のりはワクワクしたものでした。そのくらい集中して勉強していました。(試験中も楽しんでいた事を思い出しました)

健康管理士一般指導員の資格をどこで・どのように活用していますか？

資格を取得して、施設で掲示板に毎月A4サイズの紙にイラストをつけ、その月に合った健康に関する話題をのせたり、在宅(ケアマネージャーとして)では、本人の疾患や気になる事に合わせプランに載せたり、B5サイズの紙に予防、維持するための健康指導をイラスト入りで渡しています。家族の方も同時に年をとっているのも、「が気になって」という事を調べ、予防や気をつける点などを話したり、お渡ししたりしています。職員の間にも間違った知識を身につけた方に再指導したり、「こんな時どんなアドバイスをしたらいいか」と聞かれた時、テキストや「ほすび」、文献などで調べ、予防やこれ以上悪化させないためにはこのような生活(改善)をしてみてもどうかとアドバイスしています。衛生管理者の知識とプラスして取り組んでいます。

その他「ほすび」や「セミナー」「能力開発講座」等の感想がありましたらお書きください。

「ほすび」は関心があった事、全く関心がなかった事など自分を多角的に考えさせてくれるものとなっています。自分のフォローアップに大いに役立つものとなっています。また、「ほすび」と一緒に送ってくる新聞も、皆さんの活動ぶりが確認でき、「すごいな」と関心しています。時期をみて、県内の健康管理士会に入会できたらと考えています。